

6年学年だより Believe

令和7年4月18日

第6学年だより

第2号

古閑啓之・岩木智恵・元泉沙英子

15日の保護者会には、多くの保護者の皆様に参加していただきありがとうございました。
今週は委員会活動や縦割り班活動が始まりました。学校の中心として動くことが増えて、担任としては心配や不安な気持ちもありますが、子どもたちはそんな不安を吹き飛ばすくらい、とても意欲的に活動しています。

委員会活動

4月14日（月）に今年度第1回の委員会活動が行われました。第1回では、委員長、副委員長、書記の3役決め、委員会の目標決め、仕事の内容確認と役割分担を行います。

私が担当していた図書委員会では、委員長や副委員長が立候補をした決意表明をしました。子どもたちは「自分は本が好きだから、低学年にもたくさん図書室に来てもらえる環境を作りたいです。」という言葉や「自分はあまり本を読んでこなかったけれど、これをきっかけに本を好きになって良さを伝えていきたいです。」という決意を述べることができました。始まって一週間ですが「学校のために自分たちは何ができるか」という意識をもち、自分の言葉で表現する姿に感心しました。「6年生の考えていること、すごいね。」と教員間でも話題にするほど、私たちの想像を超えるすてきな言葉や発想をもっている6年生のこれからの活躍が楽しみです。



応援される人になるために

学年びらきでの「応援される人」について、子どもたちから出てきた言葉を紹介します。

○応援したくなる人とは？

・努力している人・考える人・言葉がきれいな人・全力を出しているけど、失敗している人・目を合わせている人・立ち直れる人・人のことも考えられる人・まっすぐな人…

○応援したくない人とは？

・嘘をつく人・自分勝手な人・好きなことだけやる人・自分がしたことを背負えない人
・わざとチームを乱す人・やる気がない人・他の人を下に見る人・自慢ばかりする人…

ほんの一部にすぎませんが、なんだか核心をついているような言葉もありました。学校での5年間（もしくは生きてきた11年間）のいろいろな経験からこのような思いや言葉選びにつながっているのかなと思うと、これから子どもたちと過ごす時間がさらに楽しみになりました。